

令和3年度 都城市立明和小学校自己評価

4: 大変よい(90%以上) 3: だいたいよい(〜70%) 2: もう少し(〜50%) 1: よくない(50%未満)

	項目	ポイント			自己評価	考 察	学校関係者評価	
		児童	保護者	職員			意見	評価
かしこく【知】	1 授業へ楽しく参加していますか	3.5	3.3	3.2	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度当初、学校の研究を学級づくりから始め、次に授業作りと段階を進めながら指導した結果、児童が学習に意欲をもって取り組むようになり学力が向上しつつある。 ○ 本校で行われた研究公開・研修会、研究授業を通して授業改善を図るとともに、単元テストを意識した目に見える学力向上に向けた取組を進めている。 ○ 本年度から導入されたタブレットPCを含むICTの活用により、教材の提示、表現力の育成、個に応じた指導など学力向上に向けて取組を始めた。タブレットPCを使って国語・算数をはじめ、音楽、体育など他教科においても活用することができた。 	<p>○校内研修の拡充により授業の質の向上が伺える。児童の多くが授業に楽しく参加していると答えており、今後の学力向上が期待できる。</p> <p>○児童評価において低いポイントとなっている自己表現に関しては、①人と違う意見②目立ちたくない③多数意見への同調などがあり、今後学校での指導が望まれる。</p> <p>○教室には学力差のある児童が混在しており、その対策としてICT活用による個に応じた指導の充実を期待する。</p> <p>○タブレットを使った授業には、どのような可能性や課題があるかをしっかり検証しながら、子どもたちが興味関心をもって学習に取り組めるようにしてほしい。</p>	3.4
	2 授業内容の理解していますか	3.3	3.1	2.8				
	3 自分の考えや思いを伝えていますか	2.9	2.8	2.5				
	4 学年で決まった時間家庭学習していますか (低30〜50分 中50〜70分 高70〜90分)	3.0	2.8	2.7				
あかるく【徳】	5 学校の生活のきまりを守っていますか	3.6	3.2	2.8	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度は、学級づくりと合わせて、「右一静歩」(右側を1列で静かに歩く)を1年間を通して取り組んできた。児童の廊下の歩き方への意識が高まるとともに、きまりを守ることにもつながり、落ち着いた静かな学校生活を送ることができた。児童の調査でも学校生活のきまりを守ることへの意識の高まりが見られた。 ○ 第6学年を中心に草取り、落ち葉掃除など朝のボランティア活動に取り組んだ。寒い中でも活動を行い、5年生以下の子どもたちも意欲的に落ち葉拾いやゴミ拾いに取り組んでいる。 ○ 読書貯金や読み聞かせなど、読書に関わる活動を通して、図書館利用を促進し、本が好きな児童を育てることができた。学校での読書活動調査では、ほとんどの児童が学年目標冊数を達成することができた。(学年目標冊数達成者97%) 	<p>○「右一静歩」はきまりを守ることの大切さや協調性を養うのにとっても有効な取組と考える。</p> <p>○学校を訪れたときも子どもたちが、私より先にあいさつをしてくれるのでうれしく思う。</p> <p>○学校での子どもたちのボランティア活動は素晴らしい取組だと思う。ボランティア活動を通して、自主的に行動できる児童が増えることを期待します。</p> <p>○コロナの影響でメルヘンタイムによる読み聞かせが中止になったが、来年度は実施できることを期待している。</p> <p>○読書量についてほとんどの児童が目標冊数を達成できたことはすばらしいと感じる。</p>	3.5
	6 みんなや家族と協力して掃除をしていますか	3.2	2.7	3.1				
	7 友だちに傷つく言葉を言ったり、嫌がることをしたりしていませんか	3.6	3.3	3.0				
	8 読書が好きで進んで本を読んでいますか	3.5	2.6	3.2				
たくましく【体】	9 交通のきまりを守り、安全に気をつけていますか	3.8	3.4	2.9	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の方の見守りや保護者の立番などにより、登下校時の車との交通事故は起こらなかった。引き続き児童の交通安全への意識を高めるとともに、地域との連携を通して登下校を見守っていききたい。 ○ 昨年度の体力調査では、コロナの影響もあり、児童の体力が低下している結果が見られた。本年度は、体力向上プランをもとに、体育的行事、体育学習を充実し体力の維持・向上に努めている。 ○ 朝、遅刻する児童がおり、家庭と連携しながら基本的な生活習慣を身に付けさせる必要がある。 ○ う歯の治療を推進するために、保健便りの配付や個別のお知らせなどを行った結果、54.5%となり歯の治療率が向上したが、今後とも家庭への啓発を行う。 	<p>○登下校時の見守り活動を続けているが、子どもたちのあいさつ、横断歩道での渡り方、上級生が下級生を指導している姿はすばらしい。</p> <p>○明和小校区には子どもがのびのびと遊んだり駆け回ったりできる公園等の施設が少ないため、スポーツ少年団等に参加している子ども以外は身体を思いっきり動かす機会が少ないと思われる。体力向上プランに期待したい。</p> <p>○コロナ禍で休みの時も外で遊ぶ機会が減り自宅過ごす時間が増えている。家庭での過ごし方を工夫する必要があると感じる。</p> <p>○「早寝・早起き・朝ご飯」や「食後の333歯みがき運動」などは保護者がしっかりと身に付けさせるべき習慣だが、家庭によって大きな差があると考えられる。引き続き学校からの啓発をお願いしたい。</p>	3.3
	10 外で元気よく遊んだり、運動したりしていますか	3.6	3.2	3.2				
	11 早起き、早寝、朝ご飯、朝ウンチに心がけ、規則正しい生活をしていますか	3.1	3.1	2.9				
	12 歯みがきをしたり、う歯の治療をしたりしていますか	3.6	3.3	2.6				
その他	13 学校からのプリントやテストを見せていますか	3.6	3.3	2.9	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度は、学校からの緊急連絡が多く、安心・安全メールによって保護者に伝えることが多かった。 ○ 学校であった出来事を家の人に話しているという児童が多かった。学校からも気になる行動や児童については、保護者に連絡をとるなど、教師、保護者で協力して児童を育てる姿勢が見られた。 ○ 昨年度までコロナ関係で、外部からのゲストティチャーを制限していたが、本年度は徐々に地域との連携した取組ができるようになってきた。 ○ 学校ホームページにその日の出来事や行事、児童の様子を毎日アップしたため閲覧者数が大幅に増え、保護者はもとより卒業生にも学校の様子を広く伝えることができた。 	<p>○今年度も地域での子どもたちへの行事が皆無でした。しかし、1月15日の明和小学校での花火、癒やされた気分が大変良かった。</p> <p>○公民館にはいろいろな達人がいます。(ギター、サックス、木工制作等)学校からの要望には十分協力できると思います。</p> <p>○学校に向く機会が減り、学校の様子を知る機会があまりない中、定期的に学校のホームページで学校の様子を知ることができるので今後も継続してほしい。</p>	3.6
	14 学校のことを家のひとに話しますか(児童) 学校は相談に適切に対応していますか(保護者・職員)	3.4	3.2	2.4				
	15 あなたは自分の住んでいる町が好きです(児童) 地域の人材や素材を活用した授業をしていますか(教職員)	3.7		2.6				
	16 通信等でようすを伝えていますか(保護者)		3.1	3.1				